

松本短期大学 大人の森の健康診断（植栽体験）



令和6年5月10日

松本短期大学幼児保育学科2年生

一般社団法人塩尻市森林公社

学び

松本短期大学幼児保育学科2年生(23名)の皆さんと 「大人の森の健康診断(植栽体験)」を実施しました。

天気に恵まれたなか、植栽を実施することが出来ました。

まず始めに公社職員より、簡単な注意事項や植栽する場所の経緯等の説明し、その後、植栽の方法について、実際に公社職員が「こうやって苗木を植えるんだよ」と手本を見せました。

今回はカラマツの苗木(3年生)を植栽しました。



体験

2人1組になって、あらかじめし印をつけておいた場所に苗木を植えてもらいました。

まず、地被物(葉っぱなど)を表土がでるまでクワを使って取り除き、植穴を掘ります。掘った植穴に苗木を入れ、土をかぶせます。植えた苗木を持ち、少し引っ張りながら足で土を踏み固め、表土を元に戻します。苗木が簡単に抜けないか、公社職員が時々チェックをします。抜けてしまうものは植えなおしを行います。

最後に植栽したものと分かるように印のテープを巻きました。



2人で協力して植え付けを行います

とても丁寧に植え付けて
いただきました!!



330本のカラマツの苗木を
植栽しました!

皆さんからの感想

- 初めて小さい木（苗木）に触り、木を植えた。大変な作業でしたが 良い経験でした。
- 畑で使う同じ道具を使っただけの作業でしたが、畑とは違って山で使うと大変だった。
- 最初は楽しかったが、傾斜のあるところでの作業は大変でしたが貴重な体験ができた。
- 10年、20年後に自分が植えた木を見に来たい。

森の健康診断を通して、幅広い世代が、山を身近に感じ、山の素晴らしさを知り、山に囲まれているこの塩尻市をさらに好きになってもらえたら嬉しいです。

言葉で山の魅力を伝えることには限界があります。山に入り、肌で感じ、体験することで、より深くのことを学習できると感じています。

そして、ここでの経験が記憶の中にとどまり、将来へと引き継がれていくことを願っています。

「山を守り、育て、共に生きる」私たち塩尻市森林公社は、これからもこの活動を続けていきたいと思っております。